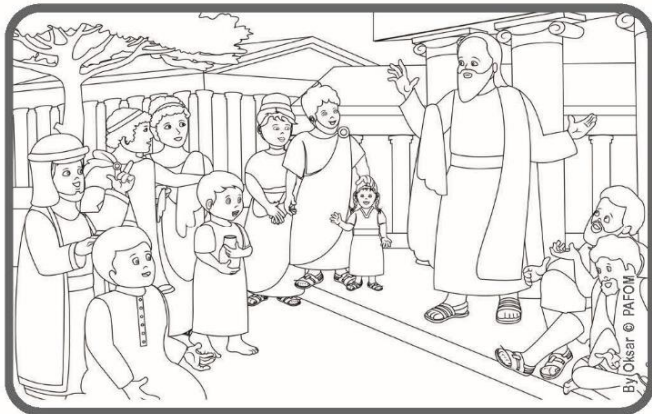


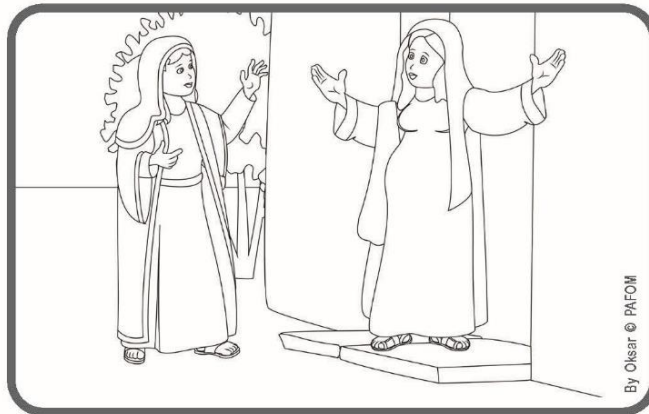


イエスはわたしたちによろこびを もたらすためにこられました

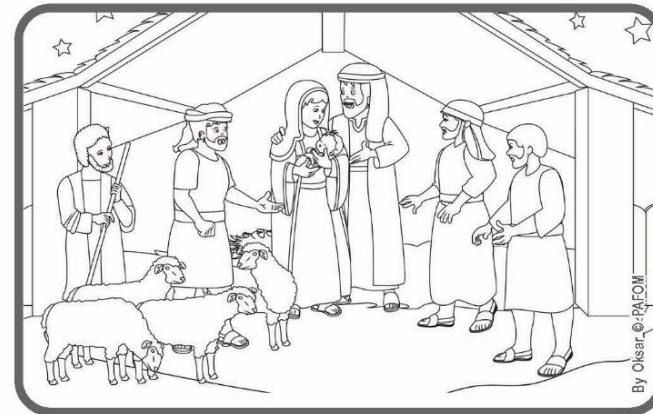
いつもよろこんでいなさい、たえずいのりなさい、
どんなことにもかんしゃしなさい。これこそキリスト・イエスにおいて
かみがあなたがたにのぞんでおられることです。(1 テサロニケ 5:16-18)



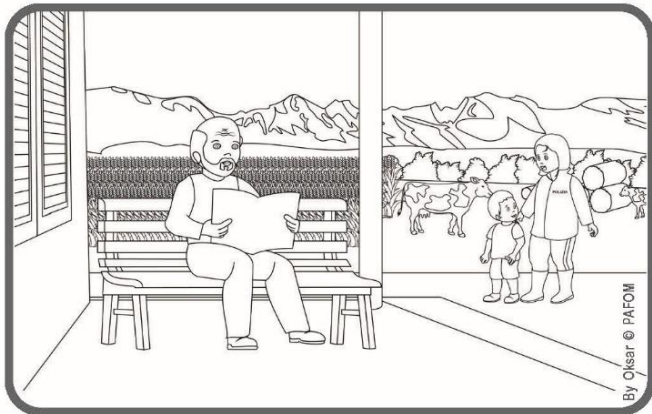
しとパウロは、さいしょのキリストきょうどうたいにあてた
てがみのなかで、イエスがちじょうにこられたことを、かみ
にかんしゃし、よろこびのうちにいきるたくさんのりゆうが
あることを、いつもおもいださせています。



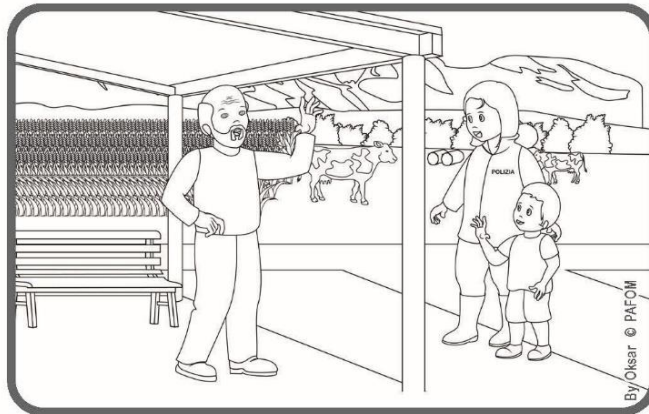
イエスの母であるマリアさまは、おなじようにこ
どもをまっていた、いとこのエリザベスにあった
とき、すべてのできごとにたいして、たましいが
よろこびでみたされているのをかんじました。



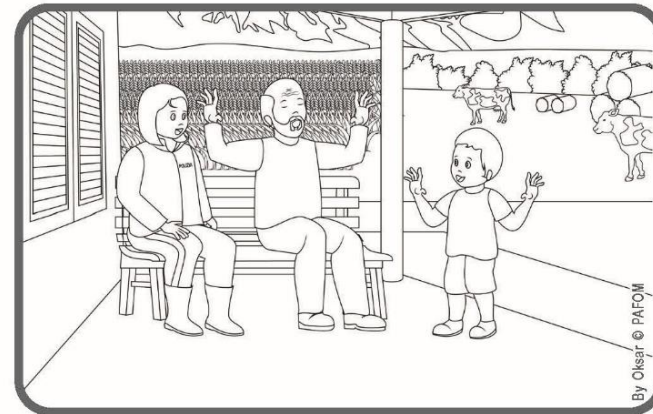
イエスはマリアにうまれるこどもで、へいわとせいぎをもた
らし、まずしいひとびとをたすけ、かねもちやけんりよくの
あるひとびとをからてで取りかえすでしょう。マリアはイ
エスをうけいれ、かみさまに「はい」とこたえました。



リカルドはミラノこうがいのちいさなむらにす
んでいます。かれはママといっしょにでかける
とき、いえのまえのテラスにすわっているねん
ばいのおじさんによくあいます。



このおじさんは、リカルドがとおるかかるたびに、「こんにち
は!」とげんきよくあいさつします。かれはよいひとのようです
が、かぬしそうです。なんどがこんなことがあったあと、「さび
しいのかも知れない、ともだちがほしいんだ」とおもいました。



それで、あるひのごと、リカルドはともだちとあ
そびていくかわりに、ママにそのおじさんのと
ころにいっしょに行くようにたのみ、ふたりはおじ
さんにあいにくきました。おじさんはほんとうに
よろこびました。